

2020年3月1日

第129号

発行: 日本臨床検査技師連盟
発行責任者: 楢山 広美
編集担当者: 中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ グループワーク意見交換
- ◇ 新入会のご案内

今年の冬は暖冬でこのまま春を向えそうな陽気となり新しい年度を迎える準備が進む中今、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配されています。日本臨床衛生検査技師会（日臨技）においても対策本部を設置し、政府の感染症対策への支援を行っています。会員の各医療機関等の職場においても、今後の健康被害を最小限に抑えるための重要な時期であり、新型コロナウイルス感染症対策が行なわれていると思います。一方、技師会活動においては、研修会、講習会等を中止もしくは延期とせざるを得ないことから、技師会活動への影響も大きくなっています。

令和2年連盟事業計画については、1月の執行委員会において了承され、入会活動を本格化すべき時期であります。研修会等の勧誘の機会が失われ活発な活動ができない状況ではありますが、皆さんの施設で連盟に入会していない方への入会勧誘を是非行なっていただくなどのご協力をお願いします。

さて、今年も日臨技と当技師連盟は表裏一体、両輪で活動をしていきます。技師連盟の役割である日臨技の政策を実現すべく、政党や国会議員への働きかけや、日臨技からの国会議員擁立にむけ組織強化を進めてまいります。

現在、厚生労働省で進められている「医師の働き方改革に関する検討会」のもと、これまで医師が行ってきた医療行為の一部を他職種にまかせるための「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」が開催されています。その検討状況については、厚生労働省のホームページから閲覧できますので参考にしてください。

わたしたち臨床検査技師の未来のために頑張りましょう。

医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07275.html



今後の活動をグループワークで意見交換

先号(第128号)でもお伝えしました「令和2年日本臨床検査技師連盟執行委員会」(1月24日開催)の第2部 グループワークによる意見交換の内容が取りまとめられました。

テーマは「組織強化に必要なこと ―各支部における活動から、いかに会員を増やせるか―」とし情報共有を図りました。

主な意見内容

- 組織強化
 - ・技師長や中堅リーダーなどの理解と積極的な勧誘が必要
 - ・青年部など若い力を結集させる
- 学生勧誘
 - ・学生の時から連盟の必要性を啓蒙
- 支部長選出
 - ・理事や組織団体の管理者が望まれる
- 活動内容
 - ・日臨技との連携強化
 - ・技師会総会、研修会などで広く説明
 - ・会員間交流の促進
 - ・広報方法の見直し
- 入会方法
 - ・入会方法の簡素化
 - ・自動引き落としの強化

是非会員のみならず「こんな方法がいい」「こんな取り組みはどうか」などたくさんのご意見をいただければと思います。

新しい年度の始まりに、各職場においては新入職員を迎える時期となってきました。

日臨技入会をする際には、技師連盟入会も同時に行うよう働きかけていただきたいと思います。



新入会のご案内

新しく仲間になるみなさまへ

日臨技の入会手続きはお済ですか？

日臨技の入会と同時に「日本臨床検査技師連盟」への入会もお願いいたします。

私たちの要望は国会で審議され初めて法制化されます。

技師連盟は日臨技と両輪の関係。

臨床検査技師の未来のために一緒に頑張りましょう。



臨床検査技師の未来を拓く

日本臨床検査技師連盟



ホーム



組織紹介



活動内容



入会案内



会員ページ

新入会受付中

日本臨床検査技師連盟のホームページ (<http://www.jamt-renmei.org/>)から簡単に入会ができるようになりました。

また日本臨床検査技師会の入会時に同時入会していただきますと自動引き落としが簡単になります。



私たち臨床検査技師は国家資格を持つ職種です。

それゆえに法律で守られているのですが、日々移り変わっていく医療情勢の中で、その時代に合った私たちの要望をかなえる制度改革は国会での決議が必要です。

国会議員の方々にしっかりと理解し賛同していただく必要があります。

日本臨床検査技師連盟では、私たちの職能団体の中から国会議員を輩出し、早期に要望達成するように活動しています。

是非みなさまも技師連盟に入会し、ご自身の未来のためにも一緒に活動し、仲間を増やしていきましょう。